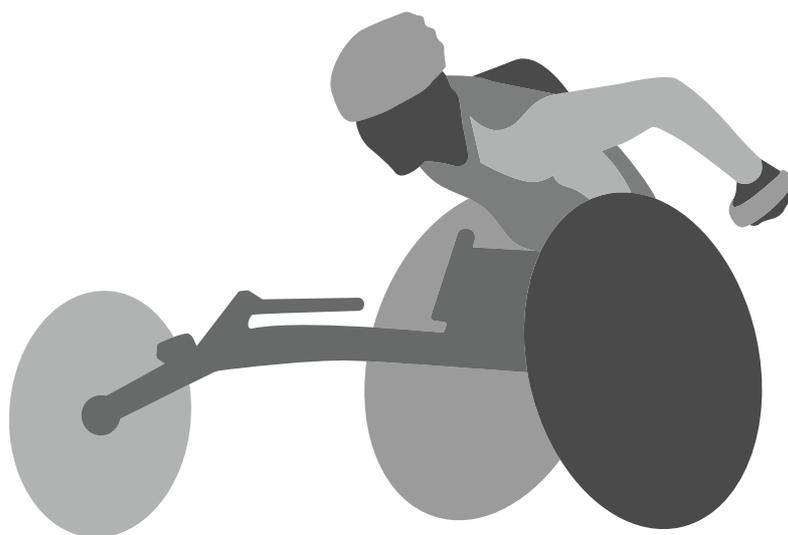
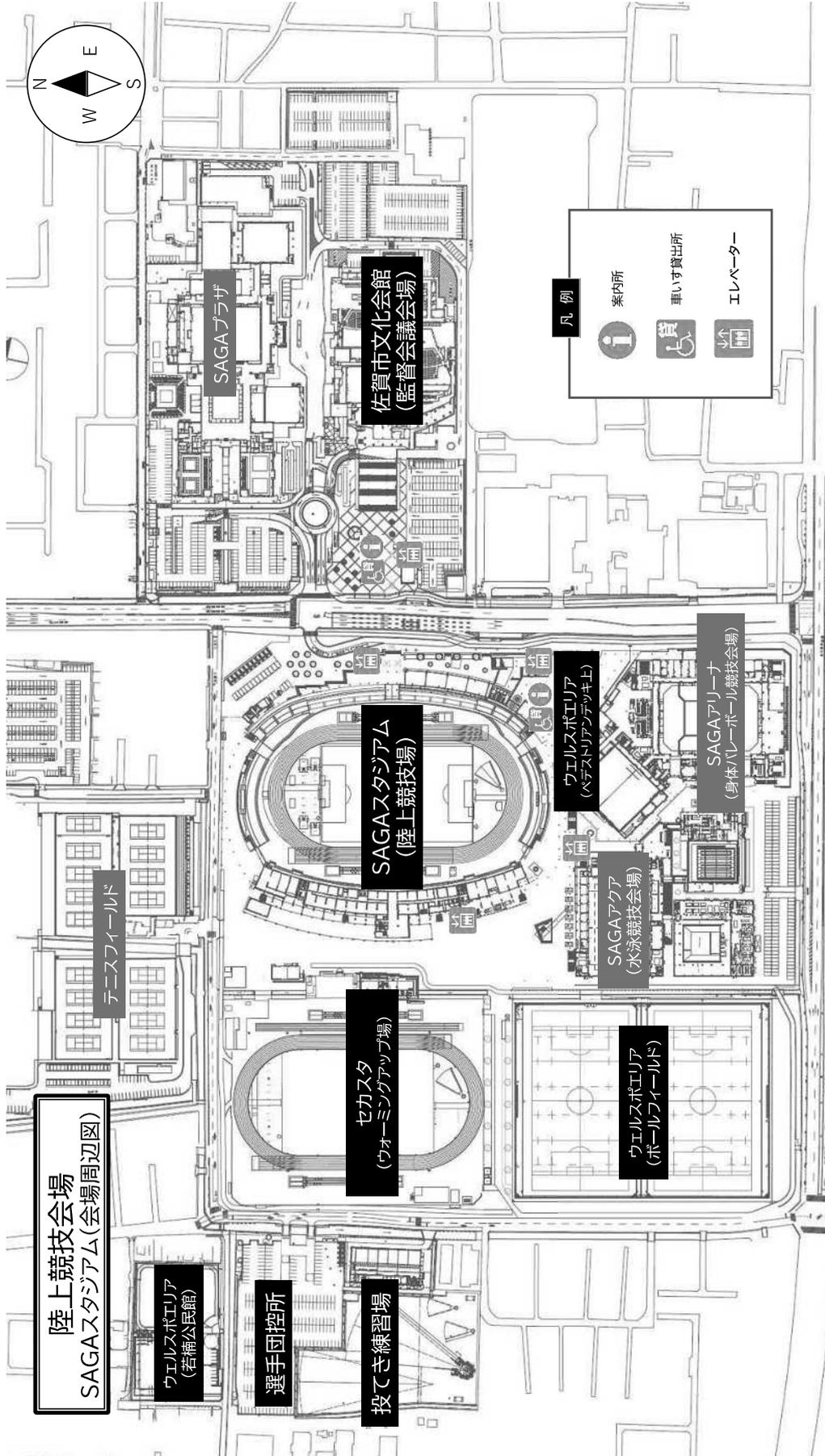
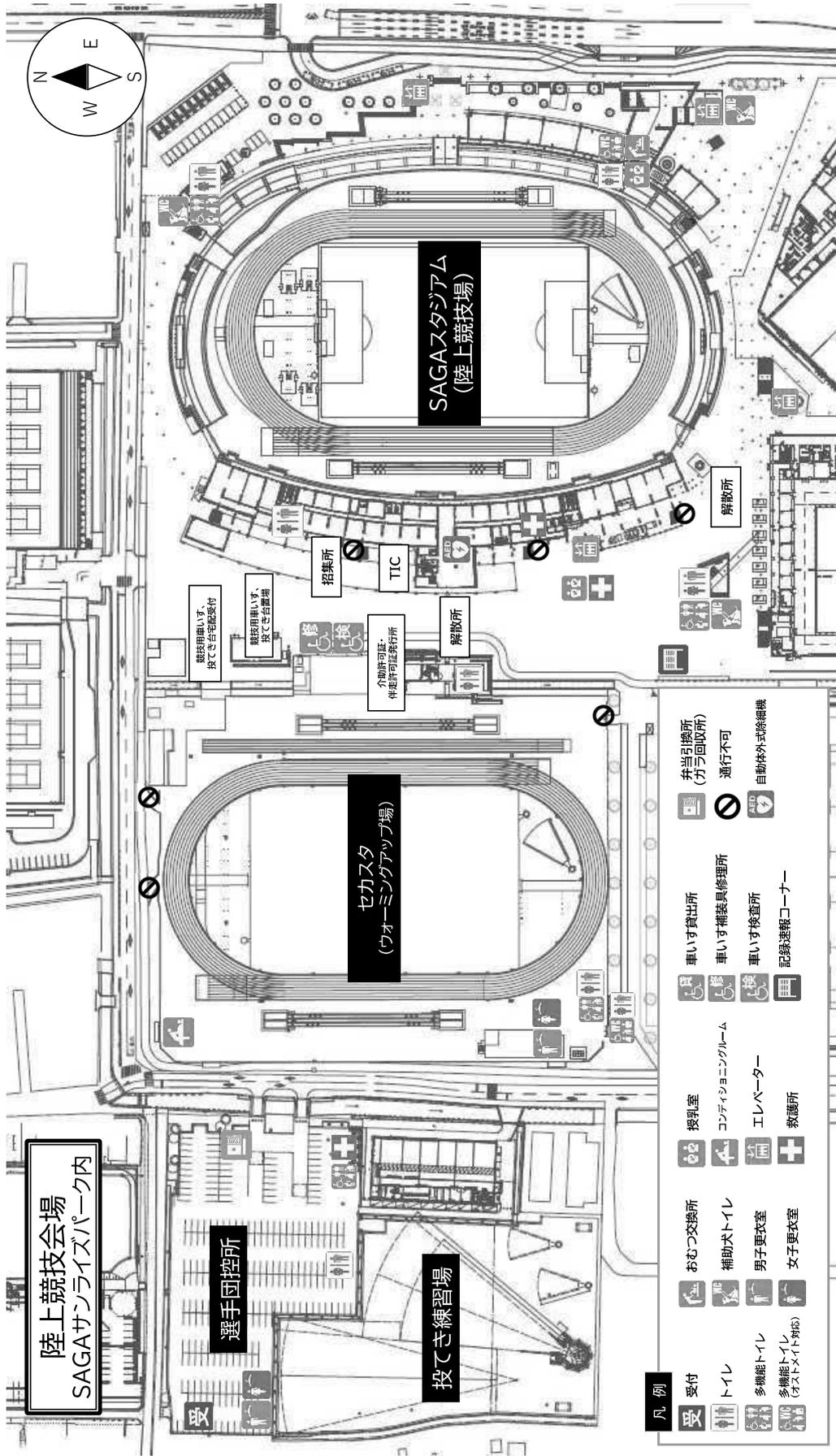


陸上競技



SAGA 2024





陸上競技会場
SAGAサンライズパーク内

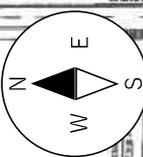
選手団控所

投てき練習場

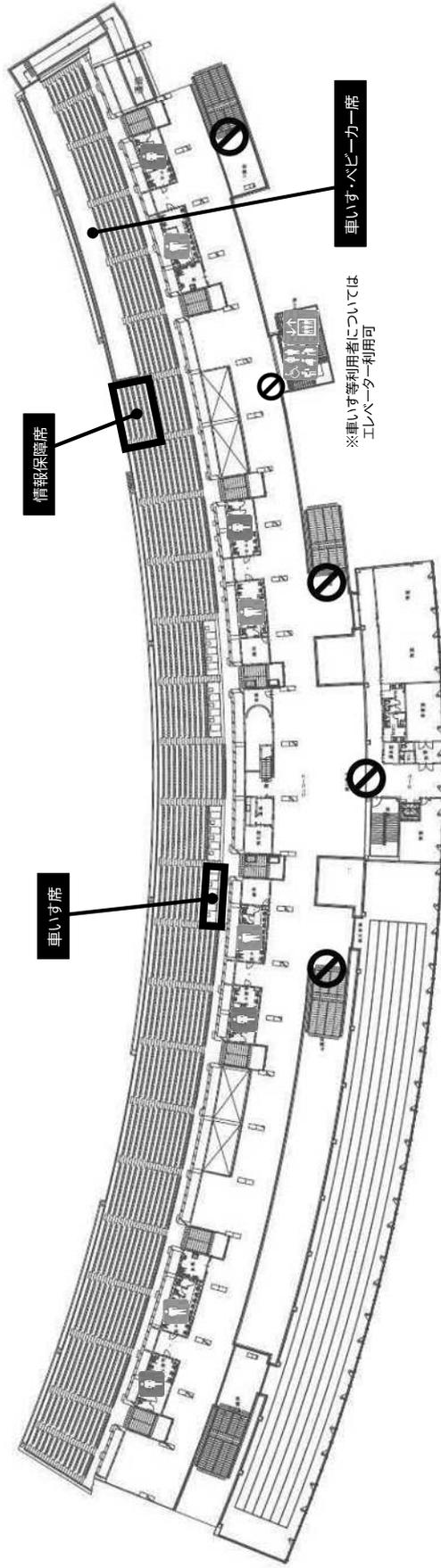
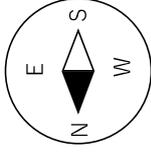
セカスタ
(ウオーミングアップ場)

SAGAスタジアム
(陸上競技場)

- 凡例
- 受付
 - トイレ
 - 多機能トイレ
 - 多機能トイレ (オーストリア仕様)
 - おむつ交換所
 - 補助トイレ
 - 男子更衣室
 - 女子更衣室
 - 授乳室
 - コンディショニングルーム
 - エレベーター
 - 救護所
 - 車いす貸出所
 - 車いす検査所
 - 車いす検査所
 - 記録通報コーナー
 - 車いす回収所 (ガラ回収所)
 - 通行不可
 - 自動体外式除細器

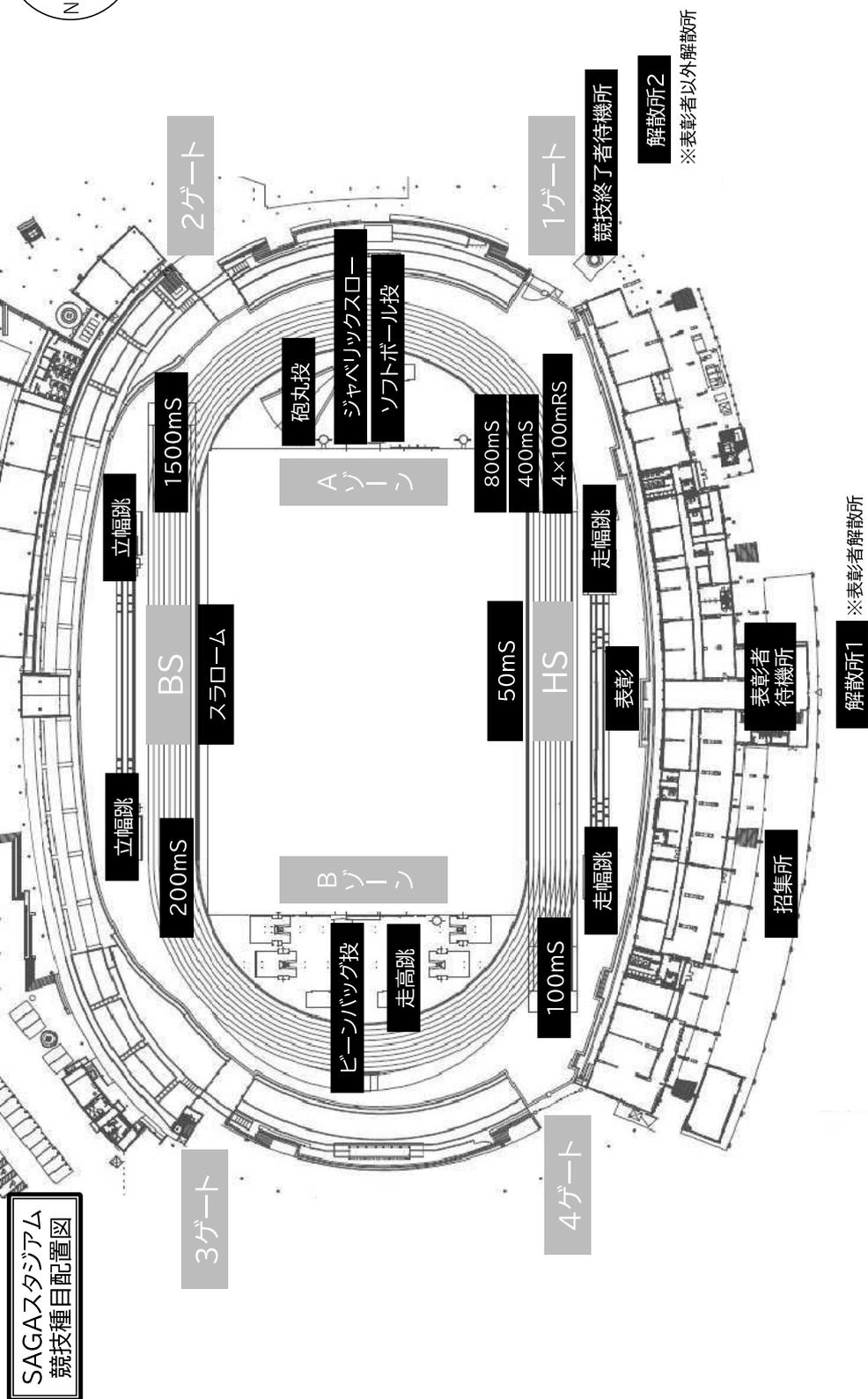
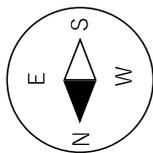


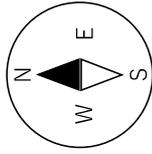
陸上競技会場
SAGAスタジアム(2階)



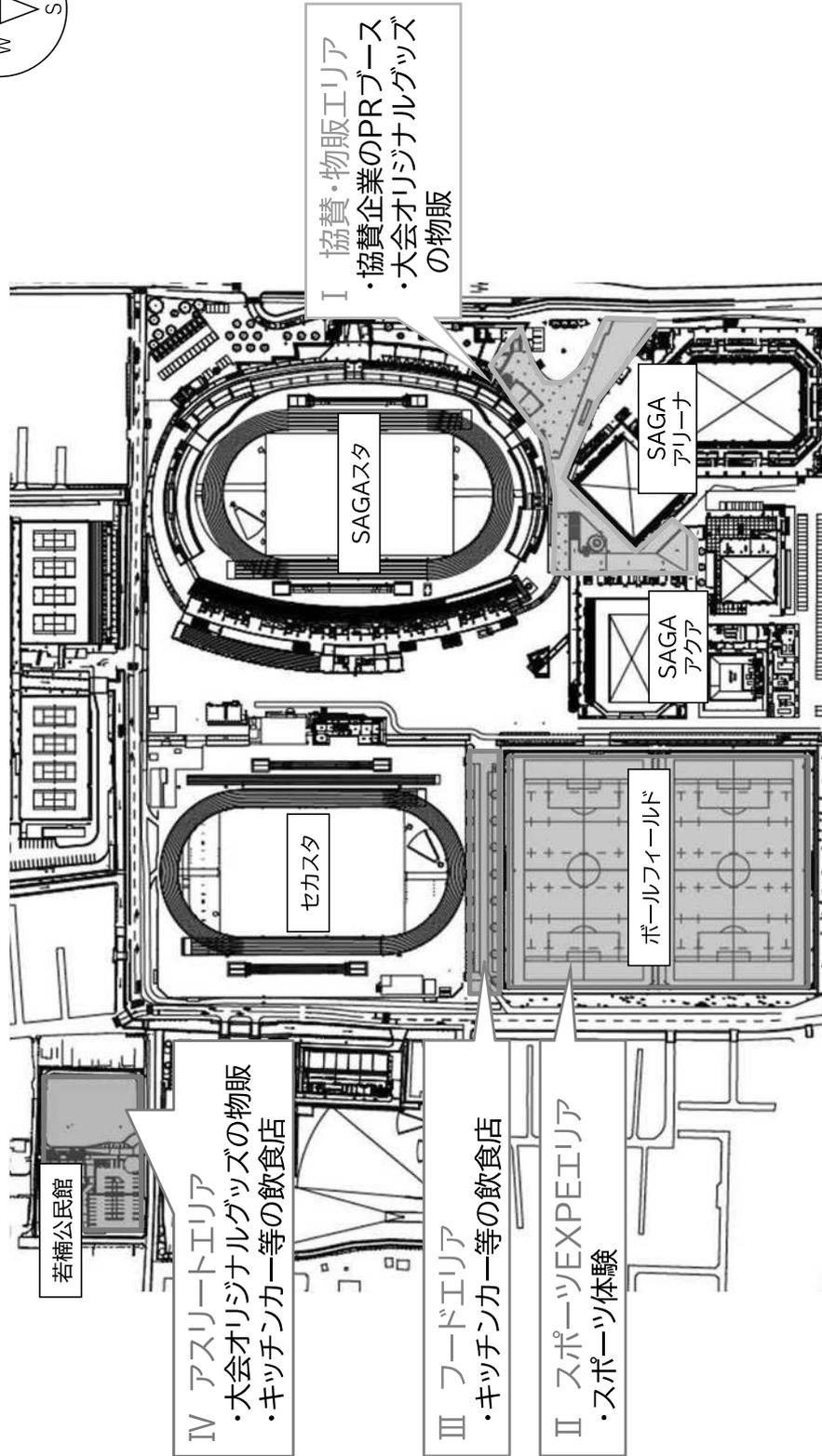
凡例

-  男子トイレ
-  女子トイレ
-  多機能トイレ
-  エレベーター





ウェルスポエリア全体図



第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」 陸上競技実施要領

1 競技規則

令和6(2024)年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則(公益財団法人日本パラスポーツ協会制定)によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 ウォームアップ

大会当日のウォームアップは、定められた場所・方法で安全に留意し、競技役員の指示に従って行うものとする。特にトラックの横断は、決められた通路を使い、練習の妨害にならないよう、安全に十分留意する。練習を行うに当たっては、競技役員の指示に従い安全に留意して行う。

(1) 場所

第2陸上競技場(セカスタ)及び投てき場

(2) 使用方法

ア 車いす(レーサー)を使用する練習は、第1～3レーンを周回使用する(第4レーンにカラーコーンを設置する。)

イ 競走競技及びリレーの練習は、第5～8レーンを使用する(第8レーン外にカラーコーンを設置する。リレーの練習をする際は、他の練習の妨げにならないよう配慮する。)。スタート練習はトラック東側の4レーン直線コースを使用する(視覚障害者が練習している場合は、視覚障害者の練習を優先する。)

ウ ランニングは、トラック外・フィールド内の芝生を使用する。

エ 視覚障害者の50m・100m競走の練習は、トラック東側の4レーン直線コースを使用する。

オ 走高跳の練習は、フィールド内の走高跳ピットを使用する。

カ 立幅跳及び走幅跳の練習は指示されたピットを使用する。

キ スラロームの練習は、指定された場所を使用する。

ク ビーンバッグ投の練習は、指定されたピットを使用する。

ケ 砲丸投、ソフトボール投、ジャベリックスローの練習に関しては、指定された練習場を使用する。

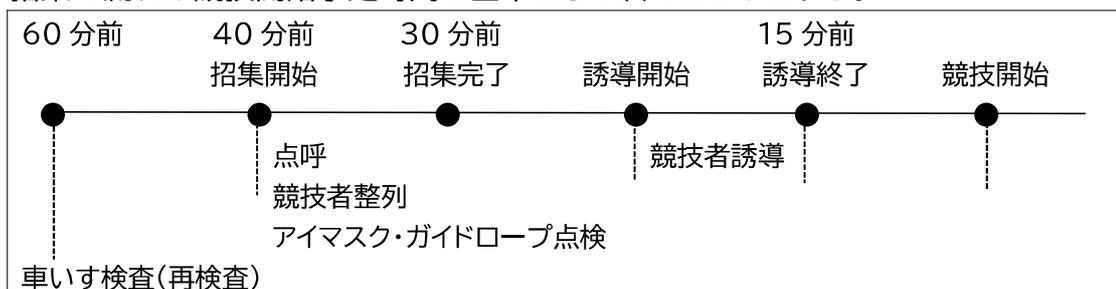
(3) その他

投てき場については、各チームの監督・コーチが必ず付き添い、事故のないように責任を持って行う。

3 招集

(1) 招集場所は、第4ゲート付近とする。

(2) 招集の流れは競技開始予定時刻を基準として次のとおりとする。



(3) 招集の方法

- ア 競技者は、競技開始予定時刻の 40 分前から 30 分前までに点呼を受ける。代理は認めない。
- イ 点呼を受けた競技者は、競技役員の指示に従い、整列して誘導を待つ。
- ウ 招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなし、競技に出場することができない。
- エ リレー種目に出場するチームは、招集完了時刻 60 分前までに、オーダー用紙に記入し、テクニカルインフォメーションセンター(以下、TICという。)に提出する(オーダー用紙は事前に配布する。)
- オ 伴走者の持つガイドロープは、招集所において長さを確認する。
- カ 障害区分 24 の競技者が装着するアイマスクやアイシェード(以下、「アイマスク等」という)は、招集所において光が漏れないか競技役員が確認するとともに、不正なアイマスク等を持ち込まないように手荷物検査を行う場合がある。
- キ 規定外の商標を競技場内に持ち込むことはできない。違反している場合、テープ等でマスキング処置を行う。

4 車いすの検査(投てき台含む)

- (1) 車いすを使用する競技者は、競技に出場する際に車いすの検査を受け、「車いす検査済証」の交付を受けなければならない。
- (2) 車いす検査は、車いす検査所において競技開始予定時刻 60 分前から開始する。
- (3) 一度不合格であった場合でも、招集完了時刻までに修理・改善すれば再検査を受けることができる(時間内に検査に合格しなければ競技に出場することができない。)

5 服装等

- (1) 競技を行う時は、競技用の服装(ランニングシャツ、トレーニングシャツ等)を着用しなければならない。リレーに出場するチームの競技者は、原則として、同一のユニフォームを着用しなければならない。
- (2) 番号布(アスリートビブス)は、主催者が交付したものを競技用服装の上衣の胸部及び背部につける。ただし、走高跳跳躍競技の競技出場者は胸部又は背部のどちらかに付けばよい。また、車いす使用者は競技役員の指示に従い、車いすの見やすい位置に取り付ける。
- (3) 腰ナンバー標識は、両腰(車いす競技者はヘルメットの両側、50m競走に出場する車いす競技者は両腕等)によく見えるように貼り付け、競技役員の確認を受ける。
- (4) 競技の際に使用する靴は、日本陸上競技連盟競技規則の定めるところとし、競技用靴のスパイクピンの長さは、9mm以下、走高跳、ソフトボール投及びジャバリックスクローは 12mm以下とする。また、靴底の厚さの規定は適用しない。なお、危険(けが)の予防上、裸足での競技参加は認めない。

6 介助者・伴走者

- (1) 「介助・伴走許可証(ビブス)」の交付を受けた者に限り競技場内に入場することができる。介助者・伴走者の入場を申請できる選手は、競技規則集に定める障害区分に拠る。その際は、競技開始前に理由を添えて申請し、主催者の許可を受けなければならない。
- (2) 介助者の服装は運動靴及び運動着とし、伴走者の服装は競技者の服装に準ずるものとする。
- (3) 伴走者は、使用時に両端の最大長が 50cm以下となる非伸縮性のガイドロープを

持つこととし、フィニッシュで競技者の斜め後ろに位置しなかった場合は、当該競技者を失格とする。

- (4) 介助者及び伴走者は、競技役員の指示に従うものとし、競技場内では競技者の競技上有利になるような助言等をしてはならない。助言等は助力とみなされ、競技役員から注意・警告を受け、聞き入れない場合は、当該競技者を失格とする(介助者が競技の伴走をした場合も助力とみなす。)
- (5) 介助者及び伴走者は、カメラ・ビデオ・携帯電話、若しくは類似の機器等を競技区域内で所持又は使用することはできない。また、競技に関係ない物についても持ち込むことができない。

7 競技場への入退場

- (1) 競技場への入退場については、すべて競技役員の指示により行う。
- (2) 競技が終了した競技者は、競技役員又は全障スポ競技サポーターにより競技終了者待機所に誘導された後、競技者解散所に誘導され解散する。ただし、1位から3位までの入賞者は、競技役員又は全障スポ競技サポーターに競技終了者待機所に誘導された後、表彰者待機所まで移動し、表彰を受けた後、競技者解散所で解散する。

8 競技方法

- (1) トラック競技の走路順又は競技順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。
- (2) 50m、100m、200m、400m競走及び4×100mリレーは、セパレートレーンで行う。ただし、視覚障害者(障害区分 24)の50m競走は、オープンレーンで1名ずつ行う。
- (3) 800m競走は、第1曲走路のブレイクラインまでセパレートレーンで行う。
- (4) トラック競技で他の競技者を妨害した場合は、その競技者を失格とする。なお、この場合も再レースは行わずレースは成立したものとする。
- (5) セパレートレーンで行う視覚障害者のトラック競技では、1競技者に2レーンを割り当てる。
- (6) 視覚障害者の50m競走に出場する競技者が使用する音源は、ハンドマイクに収納した音響(電子音)又は選手団で用意したものを使用することができる。
- (7) 聴覚障害者の100m、200m競走のスタートでは、光刺激スタート発信装置を使用することができる。なお、選手は発信装置の使用・不使用を選択することができ、不使用の場合は、発信装置をレーンナンバー後方へ移動する。
- (8) リレーの参加区分は、男女混合とする。
- (9) 走高跳を除くフィールド競技は3回までの試技が許される。
- (10) フィールド競技の場合、練習は試技順に1回を原則とする。競技運営の関係上、練習時間をとらずに直接試技に入ることがある。
- (11) 視覚障害者(障害区分 24・25)の立幅跳及び投てき種目については、必要に応じて競技役員又は全障スポ競技サポーターが方向を指示する。ただし、立幅跳については声や音源による援助は行わない。
- (12) 視覚障害(障害区分 24)の競技者は、競技エリアでは光を通さないアイマスクを装着しなければならない。アイマスクを外すことができるのは、審判が認めたときだけであり、無断で外す(顔から離したりめくったりする行為を含む。)ことは認められない。
- (13) 走高跳において、表彰組の中で最後の1人となり、1位が決まった場合、バーを上げる高さ又はバーの上げ幅については、当該審判又は審判長が決定する。

- (14) 走高跳のバーの最初の高さは、下記の通りとする。バーの上げ方は一律2cmとする。
- 区分2・区分3:男子 140cm、女子 120cm
 - 区分 25:男子 115cm、女子 100cm
 - 区分 26:男子 130cm、女子 100cm
 - 区分 27:男子 100cm、女子 100cm
- (15) 車いすで 100m以上の競走競技に出場する競技者は、ヘルメットを着用して競技をしなければならない。ヘルメットの貸し出しは行わない。
- (16) 車いすで 800m以上の競走競技に出場する競技者は、競技用車いす(レーサー)を使用しなければならない。
- (17) 投てきに使用する競技用具は、主催者が用意したものとする。
- (18) すべての視覚障害者の走幅跳の踏切板の長さは1mとする。
- (19) 砲丸投はローテーションで行い、ジャベリックスロー及びソフトボール投は3回連続して行うものとする。ただし、車いす使用者は、種目にかかわらず3回連続して行う。
※車いす使用者以外の競技者についても、競技運営の関係上、3回連続して投げる場合がある。

9 表彰式

表彰式は、各組の競技終了後に順次行う。

10 その他

- (1) 監督会議は令和6(2024)年 10 月 25 日(金)に行う。なお、時間及び場所については別途通知する。
- (2) 競技場へは、競技者、大会役員、競技役員、全障スポ競技サポーター、情報保障サポーター、実施本部員及びあらかじめ許可された介助者・伴走者、報道関係者及び視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
- (3) トラック競技に出場する競技者の衣服は、スタート準備完了後担当者(全障スポ競技サポーター)が競技終了者待機所へ運ぶ。
- (4) 抗議については、大型スクリーンでの記録発表の後、30 分以内に競技者又は代理人あるいはチームを公式に代表する者がTICまで申し出ること。その後の抗議は、一切受け付けない。
- (5) 荒天時ほか不測の事態が生じた場合の取扱いは、主催者において別途定める。

陸上競技に関する注意事項

1 ウォームアップについて

- (1) 競技に出場する前に、各自(各選手団)の責任でウォームアップを行ってください。
- (2) ウォームアップは、練習会場(セカスタ、投てき練習場)で行ってください。
- (3) 危険防止のため、トラック内での逆走などは絶対に行わないでください。
- (4) 砲丸投、ソフトボール投、ビーンバッグ投、ジャベリックスローの練習は指定された場所で行ってください。

練習エリア	競技種目等
セカスタ	
第1、第2、第3レーン	車いす
第4レーン、第8レーン外側	カラーコーン
第5、第6、第7、第8レーン	競走競技、リレー
4レーン直線コース(トラック東側)	スタート、短距離
インフィールドの指定された場所	走高跳、ビーンバッグ投、 砲丸投(車いす)、スラローム
アウトフィールドの指定された場所	立幅跳、走幅跳、スラローム
トラック外・フィールド内の芝生	ランニング、体操等、 リレーバトン練習
雨天対策テント(雨天時)	状況を見て競技役員が判断します。
投てき練習場	
投てき練習場	ソフトボール投、ジャベリックスロー

- ※ 時間帯によって車いすコースを広げる場合があるので、係員の指示に従ってください。
- ※ 視覚障害者が練習している場合は、視覚障害者の練習を優先するよう御協力をお願いします。
- ※ フィールド内での投てき競技のウォームアップについては、安全確保のため、係員の指示に従ってください。

2 招集について

- (1) 招集開始時刻までに、招集所に集合してください。(陸上競技会場図参照)
 - ※ 密集を避けるため、60分以上前に集合はしないでください。
- (2) 競技開始30分前に招集を完了します。
- (3) 招集開始時間に、必ず招集所でチェックを受け、競走競技に出場する競技者は腰ナンバー標識を2枚受取り、腰部左右のやや後方に貼り付けてください。車いすで出場する選手で100m競走以上に出場する競技者は、ヘルメットの左右または肩部等の見やすいところに貼り付けてください。
 - ※ 100m以上はヘルメットが義務付けされています。

- (4) 招集所では、競技役員が、競技No・種目・レーン・試技順・選手番号・選手名・選手団体名等を確認します。

アイマスク、アイシェードやガイドロープを使用する場合についても確認します。(アイマスク、アイシェード:光を通さないもの、ガイドロープ:非伸縮性の50cm以内の紐)

- (5) チェックを受けなかったり、時間に遅れたりすると棄権とみなされ、競技に出場することができません。
- (6) 招集後、全障スポ競技サポーター(競技補助員)により誘導され、競技となります。競技終了後は、全障スポ競技サポーター(競技補助員)が解散所まで競技者に同行します。
- (7) ビデオ装置、音楽プレーヤー、トランシーバー、携帯電話、スマートフォン、その他の類似機器を競技場内に持ち込むことはできません。

3 リレーオーダー用紙について

- (1) リレー種目に出場するチームは、各組の招集完了時刻の60分前までに、「リレーオーダー用紙」に記入し、TIC(テクニカルインフォメーションセンター)(以下「TIC」)に1部提出してください。リレーチームの編成メンバーは、その競技会のリレーまたは、他の種目に申し込んでいる競技者で障害区分が該当する競技者(2名)であれば出場することができます。出場するメンバーのうち、すくなくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければなりません。2人以内に限り、他の競技者と交代することができます。
- ※ リレーオーダー用紙はTICでも配布します。
- (2) リレーに出場するチームの競技者は、原則、同一のユニフォームを着用することとしていますが、同一ユニフォームを揃えることが難しい場合はこの限りではありません。

4 車いす等検査について

- (1) 検査時間は、競技開始時刻の60分前から招集完了時刻までとします。
- ※ 車いす等検査所は、招集所入口付近(陸上競技会場図参照)に設置します。
- (2) 車いす、投てき台を使用して競技に出場する競技者は、検査に合格しないと競技に出場できません。検査に合格した場合は、所定の位置にシールを貼ります。
- (3) 不合格になった場合でも、修理等を行い、招集完了時刻までに検査に合格すれば、競技に出場できます。
- (4) 50m競走に出場する場合は、日常生活用の車いすを使用することとします。
- ※ 車いすで800m以上の競走競技に出場する選手は競技用車いすを使用すること。

5 衣服等の商標について

衣服等の広告に関する規定については日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規程」に従い、違反に対しては主催者においてテープ・シール等で隠す等の処置をします。

介助者・伴走者についても競技者と同様の扱いとします。

6 競技用靴について

- (1) 競技用靴については、スパイクシューズの使用を認めます。
- ※ スパイクは、競技終了後、または、競技終了者待機所で靴に履き替えてください。
- (2) 競技場は全天候舗装になっています。
- (3) 競技の際に使用する靴は、日本陸上競技連盟競技規則の定めるところとし、競技用靴の

スパイクピンの長さは、9mm以下、走高跳、ソフトボール投及びジャベリックスローは12mm以下とします。また、靴底の厚さの規定は適用しません。なお、危険(けが)の予防上、裸足での競技参加は認めません。

7 介助者、伴走者について

競技場内に入場する際は、必ず介助許可証(介助ビブス)、伴走許可証(伴走ビブス)を着用してください。

(1) 介助許可証(介助ビブス)

ア 介助許可証は、出場する種目ごとに介助許可証交付所で交付を受け、競技終了後、必ず解散所で返却してください(出場するごとに配布、回収を行います)。

イ 介助許可証交付所で、競技開始時刻60分前から招集完了時刻まで交付します。

ウ 当日に急きょ介助者の同伴が必要となった場合は、TICで「介助許可証(ビブス)交付当日申請書」を提出し、許可を受けた上で、介助許可交付所で許可を得た交付申請書を提出し、介助許可証(介助ビブス)を受け取ってください。

(2) 伴走許可証(伴走ビブス)について

ア 伴走許可証は、事前に申込みのあった選手のみ、伴走許可証交付所で競技開始時刻の60分前から招集完了時刻まで交付します。

イ 伴走許可証は、競技終了後、必ず解散所で返却してください(出場する種目ごとに配布、回収を行います)。

※ 介助許可証・伴走許可証交付所は、招集所入口付近(陸上競技会場図参照)に設置します。

(3) 介助者、伴走者の同伴について

介助者、伴走者は、競技者の介助や伴走を目的として同伴が認められています。競技者に対して競技上有利となるような助言等はできません。助言等は、「助力」と見なされ、競技役員から注意・警告を受け聞き入れない場合は競技者が失格となります(介助者が競技の伴走をした場合も助力と見なされます)。

(4) 伴走者について

伴走する場合は、必ず非伸縮性の50cm以内の紐などを使用します。

8 失格について

(1) トラック競技での不正スタートをした競技者は全て失格となります。400m競走までのスタートの指示は、オン・ユア・マークス(位置について)セット(用意)の言葉を用います。800m競走、1500m競走のスタートの指示は、オン・ユア・マークス(位置について)の言葉を用います。

(2) トラック競技については、スタート合図後、下記の種目ごとに定める時間を経過した時点で、競技を中止するものとし、時間内にフィニッシュできなかった選手はゴール後でも失格となります。

※ 全国障害者スポーツ大会競技規則集 競技規則の解説

第2部各競技 第1章陸上競技 第1節競走競技第8項より抜粋

「競技運営上、競技が長時間にわたると予想される場合には、競技の前に通知し、競技の途中で中止の指示を認める。これは、全ての競技にも適用する。」

<陸上競技競走競技 競技時間一覧>

種 目	時間(分)
50m競走	6
100m競走	6
200m競走	8
400m競走	8
800m競走	14
1500m競走	18
スラローム	8
4×100mリレー	8

9 フィールド競技の競技方法について

- (1) 砲丸投はローテーションで行い、ジャベリックスロー、ソフトボール投は3回連続して行うものとします。ただし、車いす使用者は、種目に関わらず3回連続して行います。
 なお、1回の試技時間は、競技役員から用器具を手渡された時点から1分間とします。
- (2) 跳躍競技について走高跳を除き、各競技者は、3回までの試技が許されます。
 ※ 走幅跳の競技者は、申込時に1mか2mのどちらかの踏切線を使うかを申し出なければなりません。(視覚部門の走幅跳は1m幅の踏切板のみ使用)
- (3) 立幅跳および走幅跳における制限時間は1分です。
- (4) フィールド競技の場合、練習は試技順に1回を原則とします。競技運営の関係上、練習時間をとらずに直接試技に入ることがあります。

10 棄権届について

申込後、棄権する場合は、必ず、所属団体を通じて「棄権届(事前届用)」を9月30日(月)までにメールにて提出してください。

10月1日(火)以降に棄権する場合は、競技当日、招集完了時刻の30分前までに「棄権届(当日用)」1部をTICに提出してください。

※ 棄権届の用紙は、TICでも配布します。

11 2種目同時出場について

- (1) 2種目同時出場する場合において、1種目目の競技終了時刻から2種目目の招集完了時刻までが、50分以内の競技者は「2種目同時出場届」を提出してください。

この手続きにより、1種目目に出場する種目の招集時に、2種目目の招集も受けたことになり、1種目目終了後、直接2種目目の競技地点に移動することができます。次の種目への移動は、各自の責任で行ってください。

また、いずれかの種目を棄権する場合は「10 棄権届について」を参照してください。

(2) 提出場所等

提出場所:TIC

提出時刻:第1種目の招集開始時刻の30分前までに提出します。

提出部数:1部

- (3) 1種目目で入賞しても、2種目目に出場するため表彰に出られない場合があります。その場合はお近くの競技役員に伝えて2種目目の競技地点に移動してください。2種目目競

技終了後、表彰者待機所付近にあります「メダル未受領者受付」で、1種目目のメダルをお受け取りください。

※ メダルをもらい忘れてしまい、選手団控所等に戻ってしまった場合は、解散所にいる実施本部員に声をかけてください。引率者がいる場合は、介助ビブスを着用して再入場となります。

12 表彰について

各種目の1位から3位の競技者の表彰は、正面スタンド前表彰所で行います。

13 抗議について

抗議がある場合は、大型スクリーンの記録発表後30分以内に、競技者自身または代理人が「公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則」に準じ、TICまで申し出てください。

14 競技規則について

本大会は、本注意事項ならびに、「公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則」、「全国障害者スポーツ大会競技規則」、「第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」陸上競技実施要領」により実施します。

競技役員等名簿

(順不同・敬称略)

は兼務

【競技役員】

競技会会長	白水 克明				
総務	水田 和幸				
総務員	末次 信 松下 雅信(滋賀)	羽立 博文	田中 修司	山下 和幸	
競技進行総務員	吉田 智博	平山 智浩	田中 かほる		
技術総務	大町 信二	末次 真美			
ジュリー	白水 克明	江下 達郎	田中 修司		
審判長	長谷部 達彦 小柳 俊彦	池田 明廣 甲木 秀典	北村 健	山口 一誠	
アナウンサー	下平 香織 世戸 直明 宇治橋 智美(滋賀)	吉牟田 浪路 田崎 愛子	赤司 純一 夏井 慶彦	居石 憲 増本 香菜子	
大型映像係	多久島 誠 藤原 孝昭	松口 雄一 伊東 里奈	松本 綾菜	原 口 克	
報道係	石井 正英 松尾 哲司	伊東 逸 久保山 日出男	木原 正志	原 俊之	
ミックスゾーン (兼:競技終了者待機係)	岩 永 實 吉田 絵里子 小澤 尚志(滋賀)	江崎 謙一 福岡 和憲 池田 悠真(滋賀)	大坪 良哲 梅崎 淳	小野 充 森 万利子	
記録情報処理員 (印刷係含)	小城 典隆 小松 正徳 林田 浩明 舟木 正明	荒木 宏文 篠原 信浩 平野 隆治	浦 弘 人 高木 秀基 樋渡 朋子	牛嶋 優子 堤 正二 藤本 貴弘	
マーシャル	高橋 正秀 谷 智子 梅崎 優 藤田 晃吉 東田 俊二(滋賀)	飯田 小百合 谷川 忠光 真子 寛盛 廣 知 徳 栗田 希望	井原 紀美代 平田 俊夫 國分 宏樹 吉丸 涼子	田中 薫 松尾 由起子 坂口 雅 中島 陵似	
競技者係 (兼:競技者誘導係)	力久 孝仁 中島 正博 中村 祐介 秋吉 久仁人 中島 良輔 片岡 佑太	北御門 勇次 中島 政三 藤村 欣一 中尾 浩司 岡崎 隼弥 古谷 めぐみ	式町 龍雄 中島 康孝 吉牟田 司 三好 建也 松尾 脩平 田代 ころろ	田中 嘉樹 中村 孝子 松永 勝広 大館 健人 田中 遼仁 黒川 康司(滋賀)	

庶務・役員係 (兼:来賓視察員受付係)	中村綾 塚本正信	吉岡海玲 本園悠	山田清美 田原弘喜	野口順子 小柳翔生
T I C	栗山耕次 南里翔	田中孝司	松尾真以子	田崎舞子
式典・表彰係 (入賞者管理係含)	山下定則 水田鳴身 田中浩美 森浩輝	豆田富士美 伊藤真理 金ヶ江佳代 長尾夏鈴	池田豊子 北村智佳子 岡本陽香 辻聡(滋賀)	清水久美子 藤田和歌子 野口真奈美
公式計測員	廣滝紀雄			
風力計測員	佐々木誠 木場義文 原一寿	太田昭二 中願寺政城 岩本宏章	大塚理絵 野田悠斗	嘉村陽一郎 延工太郎
衣類運搬係	阪口彰 野田聖	岩下英明 段林大地	河口弘幸 立岡岬	菊池隆文
練習会場係 (兼:補助員係)	丸小野仁之 森千明 宮原慧真	松永成旦 山口祥子 橋爪健司(滋賀)	池田博士 古園志保	中尾暢介 谷口翔哉
写真判定員	松尾良伸 西坂雷太 大坪孝人	小川朋子 西坂恵	副島一見 山津和幸	田島時夫 鶴田直之
監察員	高原寿文 石橋尚弘 甲木秀典 堤泰之 野中惇 前田信行 山口義治 安永梨沙	平田繁正 内山充 川崎和矢 堤王宏 樋口一光 真崎秀文 山田泰嗣 藤田晴義	力武和則 浦川秀幸 黒木昭二 富田壽一 平野友貴 松本義輝 山下芳孝 稲田和也(滋賀)	池田浩一 小野辰馬 多久島昇 西村茂貴 前田茂貴 山口宏己 力武龍己
ビデオ監察員	陣内隆夫 福田芳生	石山守 吉田博記	岩永茂	林良孝
スタッフ	仁部智之 高橋弘志 山下哲司 原菜月 中原千佳(滋賀)	佐野公法 田雑洋輔 竹吉大記 武田彩加 中山太郎	池田憲治 成富真実 長野祥雄 南裕司	岩田隆 野口健太 徳淵克秀 林正晴(滋賀)

出 発 係	小形健作 大森常正 中島亮 峰松広行 西川竜矢	岩崎星花 小西政徳 野中大輝 宮原幹義 松江香代子	岩永与志郎 田中茂 古川直道 諸熊賀津也 立石喜美子	江口達也 中尾啓司 松江司 山口淳史
周 回 記 録 員	本村尚武 釘尾克巳 宮崎聡 本村響	飯笹数馬 野下理香 本村正剛 松本拓己	大町輝康 野田正一郎 山崎博司	大島伸 松本健二郎 吉田敏純
跳 躍 審 判 員	黒田竜喜 木村弘幸 新谷智樹 増田健一 三原慎一朗 湯ノ口達彦 木村充 許田悠貴 本山遼 吉澤純一(滋賀)	稲富康一郎 居石彩 土井正樹 湯ノ口花恩 向隆賢 小田郷 東島圭 肝付宇紀 毛利亮太 石橋麻子(滋賀)	岩永猛史 黒田有未 中島伸一 平川諒輔 森智裕 高祖良輔 山北将太郎 石原修太郎 井上駿人	大庭佐和子 高祖由美子 中島優 松永知世 森田久代 田島正義 居石芙実 壹岐翼 小濱泰代
投 て き 審 判 員	中村健太郎 北島巧 徳永卓朗 原康史 松本一平 野中善徳 中島康宏	有江美柚 古賀敏行 永田公平 原直輝 光山勝智 村岡弘幸	池田豊 坂井康生 長畑有香 古川春奈 森千恵子 西川眞則	伊藤整志 谷佳奈子 林和孝 増田稔久 森永順治 東将博
科 学 計 測 員	塘博昭	江越幸敏	南孝志	吉田愛里
救 護	徳永義和 秋丸直俊 秀島沙弥香	林田学 久原孝志 藤原増雄	大谷遼 高橋麗光 船津典孝	小野雄一 永渕和行 宮城朱里
車 い す 検 査 係 (兼:用器具係)	峯松博之 山口光吉 味志亮佑	古川昌道 永富和真 初田久徳(滋賀)	門田芳彦 柳澤保徳	高田文広 横田弘樹
特 殊 種 目 審 判 員	山田泰嗣 浦川秀幸 前田茂貴	高原寿文 黒木昭二 前田信行	平田繁正 野中惇 松本義輝	池田浩一 平野友貴 山口宏

【公益財団法人日本パラスポーツ協会】

技術指導員 北村 大河 柴尾 源太 山田 昇

【サガンティア】

全障スポサポーター

情報保障サポーター(手話、要約筆記)

全障スポ競技サポーター(競技補助員)

佐賀県立佐賀商業高等学校

佐賀県立佐賀西高等学校

佐賀県立佐賀東高等学校

佐賀県立佐賀工業高等学校

佐賀県立致遠館高等学校

佐賀県立佐賀農業高等学校

佐賀県立佐賀北高等学校

佐賀県立小城高等学校

佐賀県立多久高等学校

佐賀県立白石高等学校

佐賀県立神埼高等学校

学校法人佐賀学園佐賀学園高等学校

学校法人江楠学園北陵高等学校

学校法人佐賀龍谷学園龍谷高等学校

学校法人佐賀清和学園佐賀清和高等学校

学校法人旭学園佐賀女子短期大学付属

佐賀女子高等学校

学校法人松尾学園弘学館高等学校

学校法人永原学園西九州大学

国際医療福祉大学 大川キャンパス

【実施本部員】

佐賀県職員

競技日程

第1日〔10月26日(土)〕 競技時間 14:00~19:15 表彰終了時間 19:40

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00					
トラック競技	HS	開会式			会場転換			200m			1500m						
	BS																
跳躍競技	BS側							立幅跳									
	Bゾーン												走高跳				
投てき競技	Aゾーン	ジャベリックスロー															

第2日〔10月27日(日)〕 競技時間 9:00~19:05 表彰終了時間 19:30

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
トラック競技	HS	50m			800m			100m				
	BS									スラローム		
跳躍競技	HS側	走幅跳										
	BS側	立幅跳										
投てき競技	Aゾーン	ソフトボール投										
		砲丸投										

第3日〔10月28日(月)〕 競技時間 9:00~12:45 表彰終了時間 13:00

		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
トラック競技	HS	400m		1500m		4×100m リレー						
	BS											
跳躍競技	HS側	走幅跳										
	BS側	立幅跳										
投てき競技	Aゾーン	ジャベリックスロー		ソフトボール投								
	Bゾーン	ビーンバグ投										

特記事項一覧

【障害区分とゼッケンの色】

ゼッケン色	障害区分(名称)
白	肢体不自由
薄緑	視覚障害
黄	聴覚障害
桃	知的障害
水色	内部障害(ぼうこうまたは直腸機能障害)
薄茶	精神障害

【特記事項】

略語	特記事項
なし	特になし
伴	障害区分24・25の競走競技で、伴走者を同伴(障害区分24の50m音源走を除く)
音	障害区分24の50m走(音源走)および障害区分24・25のフィールド競技(立幅跳以外)で競技役員による音源の援助を希望
音許	障害区分24の50m走(音源走)および障害区分24・25のフィールド競技(立幅跳以外)で許可された者により主催者の用意した音源の使用を希望
音持許	障害区分24の50m走(音源走)および障害区分24・25のフィールド競技(立幅跳以外)で許可された者により持ち込み音源の使用を希望
声	障害区分24・25のフィールド競技(立幅跳以外)において、競技役員による声の援助を希望
声許	障害区分24・25のフィールド競技(立幅跳以外)において、許可された者による声の援助を希望
手	聴覚、音声・言語等に障がいのある者で、手話通訳を希望
筆	聴覚、音声・言語等に障がいのある者で、要約筆記を希望
点	視覚に障がいのある者で、点字プログラムを希望
介	競技規則上、競技場内に同伴する介助者の入場が認められている者(障害区分10、16、17、23、24、25、場合によっては区分番号18、27)で、競技場内に介助者の入場を希望
通・介	聴覚と視覚に障害があるため、競技場内に通訳者、介助者の同伴を希望

【補装具】

略語	特記事項
杖	杖を使用
松1	松葉杖を1本使用
松2	松葉杖を2本使用
ク1	クラッチを1本使用
ク2	クラッチを2本使用
両駆	両手駆動で車いすを使用
片駆	片手駆動で車いすを使用
足駆前	足駆動で車いすを使用(前向・手と足併用を含む)
足駆後	足駆動で車いすを使用(後向・手と足併用を含む)
片上下	片上下肢駆動
電動	電動車いすを使用
投台	投てき台を使用
競車	競技者用車いす(レーサー)を使用
椅子	椅子を使用
他	その他の補装具を使用